

捐助青海慈行喜愿孤儿院



我公司长年对青海慈行喜愿孤儿院进行对口支援，曾经支援两名孩子来沪治疗眼疾，几次为孤儿院捐款和捐赠生活物品。孤儿院在社会各界的支援下已经建起了4层楼房，极大改善了孤儿的生活条件。但是一场无情的青海玉树地震（2010.4.14 M7级）让以孤儿院院长更确木兰的多年的努力化为乌有，54名孤儿也不得不转移寄居他乡。现在慈行喜愿向借助在各地的儿童福利院支付生活费，确保孤儿们的正常生活。

更确木兰表示，地震已经过去快两年了，当时好心人的承诺随着时间的推移没有了后续，所以孤儿院的重建受阻。震前孤儿院的经济来源主要靠木兰经营的藏医诊所和制作藏香，以及社会各界的援助。但是藏药厂和藏香厂在地震中倒塌，失去了收入来源，现在只能依靠社会爱心企业、个人和一些民间组织的捐助来维持运转。

我公司在地震后，公司员工积极为孤儿院募捐，筹集的捐款已经汇付给孤儿院。公司和工会的捐款准备用于支援孤儿院的重建工作，等到孤儿院重建工作启动后汇给对方。不久前，在与木兰联系后，得知孤儿入冬后缺少保暖内衣，所以决定为54名孤儿每人购买一套保暖内衣裤，确保孩子过冬迎接新年。货物已经于年前送到了孩子们的手上。

希望孤儿院早日顺利重建，每个孩子都尽欢颜。



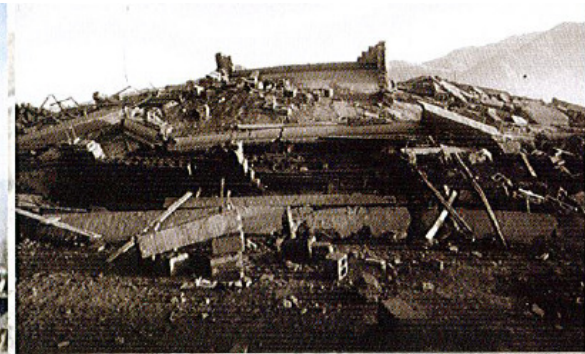
孤儿院介绍册



更确木兰院长和孤儿集体合影



孤儿院建好的4层楼房



楼房在地震中倒塌

青海慈行喜愿孤児に防寒グッズを寄贈



当社が長年青海慈行喜愿孤児院を支援してきました。孤児院に生活グッズ・義捐金を寄贈したり、二人の孤児の視力手術のため上海往復及び病院の治療費を全額負担したりしました。孤児院が当社のような社会各面の援助で、4階立ての宿舎が建てられ、孤児達の生活条件が大幅改善されました。しかし、木蘭院長の長年の努力は青海玉樹地震(2010.4.14 M7)に全てを失ってしまいました。現在、54名の子供が孤児院を離れ、各地の児童福祉院に一時的に身を寄せるしか出来なくなってしまいました。孤児院が子供達の生活費を負担しています。

地震は二年近くも経ちましたが、当時多くの建て直しの資金援助承諾が実現されなく、孤児院の建て直しは進んでいないと木蘭さんが明らかにしました。地震前、孤児院がチベット式治療所とチベット線香作りの収入及び各面からの義捐金により、孤児院の運営に当てましたが、現在、治療所も線香工場も地震に破壊され、孤児院が日常の収入を失い、NPO法人や企業・個人の寄付に頼るしか出来なくなりました。

当現法が地震後、社員の義捐金を即座に孤児院に振り込み、地震後の難関を乗り越えるように微力ながら援助しました。会社と組合の義捐金を孤児院の建て直しに使い、工事開始すると送金する予定しています。この間、木蘭さんと近況を確認した結果として、いいお年を迎えるように、当現法が孤児にパジャマセット一人ずつをプレゼントにしました。既に2012年の新年前、子供達に届きました。

孤児院が一日も早く立て直すように心からお祈り申し上げます。



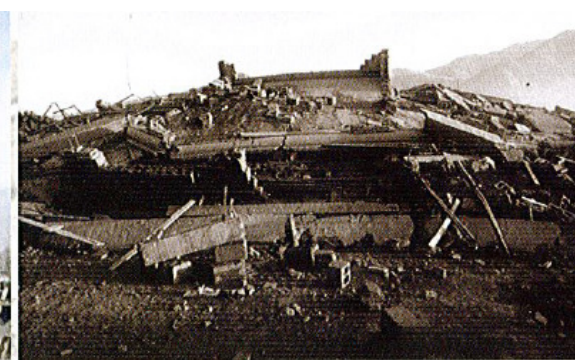
孤児院のパンフレット



木蘭院長と孤児達の団体写真



当時の宿舎



地震に破壊された宿舎